

草津市協働のまちづくり推進計画 令和3年度取組実績および令和4年度予定【市】

資料5

※担当課表記 まち…まちづくり協働課、未来…未来研究所、健福…健康福祉政策課、長寿…長寿いきがい課、職員…職員課

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当課	令和3年度		令和4年度		事業評価 (1～5)	項目評価 (A～E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
A 市民が活動しやすい環境整備	①	市民総合交流センターの設置・運用	市民の幅広い交流や創造的で多様な活動を展開できるよう市民総合交流センターを設置し、協働のまちづくりの拠点とする。	まち	112,168 千円	全入居団体を対象とした入居者会議を開催し、入居者同士の顔の見える関係づくりを行った。5階協働ひろばについては、コミュニティ事業団との協働契約により管理運営を行い、市民活動団体に利用いただくためのルールや運用を定めた。 ・入居者会議の開催 年9回	81,543 千円	入居者同士が連携を図りやすいよう、入居者会議の場で互いのイベントのスケジュール等の情報共有を行う。また、5階協働ひろばの利用促進を図るため、1階と5階を主な対象とした空間デザイン事業を実施する。 ・入居者会議の開催 ・空間デザイン事業の実施	3	B
	②	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ運営	アーバンデザインセンターびわこ・くさつを運営し、産学公民が連携し、草津の未来のまちづくりについて、気軽に立ち寄り話し合う場を作る。	未来	19,407 千円	産学公民が連携し、草津の未来のまちづくりについて話し合う場となるアーバンデザインセンターびわこ・くさつの運営を行った。 ・アーバンデザインスクールの開催(計10回) ・アーバンデザインセミナーの開催(計10回) ・包括協定締結大学を対象とした社会実験準備事業の実施 ・法人化の検討	20,083 千円	産学公民が連携し、草津の未来のまちづくりについて話し合う場となるアーバンデザインセンターびわこ・くさつの運営を行う。 ・アーバンデザインスクールの開催(計10回) ・アーバンデザインセミナーの開催(計10回) ・包括協定締結大学を対象とした社会実験準備事業の実施 ・法人化の検討	3	
	③	地域まちづくりセンターの指定管理	まちづくり協議会による地域まちづくりセンターの指定管理を行い、多様化する市民ニーズに対応した地域主体のまちづくりを支援する。	まち	264,378 千円	各まちづくり協議会を指定管理者として14学区における地域まちづくりセンターの運営を行った。センターを活用した居場所づくりの運営等、各センターで地域のニーズに応じた取組を行うことができた。 ・各まちづくり協議会による地域まちづくりセンターの運営 14カ所	266,363 千円	各まちづくり協議会による地域まちづくりセンターの運営 14カ所	3	
B まちづくり情報の提供	①	市ホームページ等を活用した情報提供	まちづくりに役立つ情報や統計、アンケート結果等の情報提供を行うことで、まちづくりに参画する市民を増やす。	まち	0 千円	各種事業をホームページや広報くさつに掲載した。また、中間支援組織が実施する事業についてもキラリエサポーターへのメール配信により情報発信を行った。	0 千円	各種事業をホームページや広報くさつ、SNSを利用し情報発信する。中間支援組織が実施する事業についても引き続き情報発信を行う。	3	B
	②	市民活動レポート事業	市民公益活動団体の活動情報を発信することで、市民への周知を図る。	まち	0 千円	手法の見直しを行い、レポート事業の代わりとして、市民総合交流センター登録団体(キラリエサポーター)140団体の情報発信をホームページで行った。	0 千円	市民総合交流センター登録団体(キラリエサポーター)についての情報発信をホームページで行う。	3	
	③	市民活動団体情報紙の発行	市民活動の情報をまとめ広く周知し、市民活動に対する市民の関心を高める。	まち	400 千円	市民活動団体の活動情報を集約した情報紙「いいことないかな?でんごんぱん」を市民活動団体との協働で年6回発行した。	400 千円	市民活動団体の活動情報を集約した情報紙「いいことないかな?でんごんぱん」を市民活動団体との協働で年6回発行する。	3	
	④	まちづくり資料集の発行(町内会向け)	町内会向けに各種支援情報を掲載した資料集を発行し、市民自らが行うまちづくり活動を応援する。	まち	119 千円	補助制度等をまとめた「まちづくり資料集」を発行。町内会長全体説明会の資料として町内会長に説明のうえ配布した。	123 千円	補助制度等をまとめた「まちづくり資料集」を発行する。	3	
	⑤	市民活動資料集の発行(NPO向け)	NPO向けに各種支援情報を掲載した資料集を発行し、市民自らが行うまちづくり活動を応援する。	まち	0 千円	助成制度や備品の貸出制度等、市民活動に役立つ情報をまとめた市民活動資料集を発行し、各種団体に配布した。	0 千円	助成制度や備品の貸出制度等、市民活動に役立つ情報をまとめた市民活動資料集を発行し、各種団体に配布。キラリエサポーターへの配布を追加する。	3	
C まちづくり活動支援・資金助成	①②③	まちづくり協議会への支援事業 基礎的コミュニティへの支援事業 市民公益活動団体への支援事業	まちづくり協議会、基礎的コミュニティ、市民公益活動団体に財政的な支援を行い、安定した活動につなげる。	まち	117,677 千円	○まちづくり協議会への支援 ・地域まちづくり一括交付金 14学区 ・地域課題解決応援交付金 8学区 ○基礎的コミュニティへの支援 ・コミュニティハウス整備事業費補助金 3町内会 ・掲示板設置事業補助金 4町内会 ・コミュニティ活動初期備品整備事業補助金 1町内会 ・自治会活動保険加入補助金 167町内会 ・コミュニティ助成事業 2町内会 ○市民公益活動団体への支援 キラリエサポーターへのヒアリング等を通じて必要とされる支援の把握を行った。	114,624 千円	○まちづくり協議会への支援 ・地域まちづくり一括交付金 ・地域課題解決応援交付金 ○基礎的コミュニティへの支援 ・コミュニティハウス整備事業費補助金 ・掲示板設置事業補助金 ・コミュニティ活動初期備品整備事業補助金 ・自治会活動保険加入補助金 ・コミュニティ助成事業 ○市民公益活動団体への支援 コミュニティ事業団を通じた助成事業で経済的な支援を行う。	3	B
	④	市民活動保険助成制度	市民公益活動団体が安定して活動できるよう活動保険の助成を行う。	まち	0 千円	申請団体が少なく固定化しており、介護保険事業等比較的安定した事業展開をされている団体が過半数を占めていることから、制度を廃止した。	- 千円	-	-	
	⑤	中間支援組織への補助金事業	中間支援組織に支援を行い、安定した運営が図れるようにする。	まち 健福 長寿	124,698 千円	○市の指定した中間支援組織であるコミュニティ事業団に対し、運営費等補助を実施 ・草津市コミュニティ事業団への人件費補助(56,156千円) ・草津市コミュニティ事業団への事業費補助(5,147千円) ○市の指定した中間支援組織である社会福祉協議会に対し、運営費等補助を実施 ・草津市社会福祉協議会への人件費補助(52,005千円) ・草津市社会福祉協議会への事業費補助(1,979千円) ○地域サロンの運営および人件費にかかる補助(9,411千円)	147,788 千円	○市の指定した中間支援組織であるコミュニティ事業団に対し、運営費等補助を実施 ・草津市コミュニティ事業団への人件費補助(73,898千円) ・草津市コミュニティ事業団への事業費補助(6,527千円) ○市の指定した中間支援組織である社会福祉協議会に対し、運営費等補助を実施 ・草津市社会福祉協議会への人件費補助(54,033千円) ・草津市社会福祉協議会への事業費補助(2,236千円) ○地域サロンの運営および人件費にかかる補助(11,094千円)	3	
	⑥	まちづくり協議会との協働推進体制の整備	市とまちづくり協議会との連携や情報共有が図れるような仕組みを作る。	まち 各課	11,102 千円	まちづくり協働課に地域支援員を配置し、市とまちづくり協議会との連携支援を行った。また、地域まちづくりセンターの運営に関する相談を通じてまちづくり協働職員やコミュニティ事業団がまちづくり協議会と関わり、顔の見える関係づくりを行った。 ・各まちづくりセンターの会計・税務・労務支援を中間支援組織に委託	13,082 千円	・協働推進員や地域支援員による行政との連携支援 ・会計・税務・労務の支援を中間支援組織に委託	3	
	⑦	基礎的コミュニティ設立支援・加入啓発事業	技術的な支援を行い、安定した運営が図れるようにする。	まち	0 千円	地域の要請に応じ、町内会の設立支援を行った。また、転入者に向けて町内会加入促進チラシによる啓発を行った。	0 千円	・地域の要請に応じた設立支援 ・町内会加入促進チラシによる未加入者への啓発	3	
	⑧	人材育成の充実	中間支援組織との協働により各種講座を開催し、まちづくりに関する担い手やリーダー等の人材を育成する。	まち	0 千円	中間支援組織が実施する市民向け講座への参加をキラリエサポーターへ案内する等の連携を行うとともに、地域まちづくり協議会や大学生等多様な主体が研修の場で繋がることのできるよう工夫した。	0 千円	中間支援組織が実施する講座に多様な主体が参画できるよう連携して周知を図る。	3	
	⑨	クラウドファンディング活用サポート事業	市民公益活動団体等の資金調達をサポートする。	まち	0 千円	クラウドファンディング実施 1件	0 千円	クラウドファンディングの相談対応を行う。	3	

資料E

草津市協働のまちづくり推進計画 令和3年度取組実績および令和4年度予定【市】

資料5

※担当課表記 まち…まちづくり協働課、未来…未来研究所、健福…健康福祉政策課、長寿…長寿いきがい課、職員…職員課

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当課	令和3年度		令和4年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)		
					決算額	取組実績	予算額	取組予定				
C		まちづくり活動支援・資金助成	各まちづくり協議会の健幸宣言実現に向けた取組の推進	各まちづくり協議会と市が協働して健康づくりに取り組む仕組みを作る。	各課	－ 千円	地域の特性や健康課題について各まちづくり協議会と共有を図り、啓発媒体の作成や健康フェスタや健康講座等の取組をサポートする等、市民が主体的に地域の健康づくりに取り組むことができるよう支援した。(地域保健課)	－ 千円	地域が主体的に健康づくりや介護予防に取り組むことができるよう、まちづくり協議会をはじめ、企業や商業施設等の関係機関と協働したアプローチを行う。(地域保健課)	3	B	
D		協働事業の推進	①	協働事業の実施	協働で取り組むことができる可能性のある施策や事業について検証し協働による事業実施を推進する。また、ラウンドテーブル等を実施し地域課題解決のための協働事業の展開を図る。	各課	2,291 千円	各課において協働事業を実施した。また、地域課題解決のための協働事業のきっかけとなるよう、市民総合交流センターでラウンドテーブルを実施した。 ・協働契約書を活用した協働事業 4件 ・ラウンドテーブルの実施 5回	2,291 千円	協働事業が増えるよう、各課からの相談対応を行う。また、ラウンドテーブルに多様な主体の参画を促し、新たな繋がりから協働事業が生まれるような仕掛けづくりを行う。 ・協働事業の実施 ・ラウンドテーブルの実施 7回	4	B
			②	地域協働合校の推進	市内小中学校およびまちづくり協議会において地域協働合校を実施し、子どもと大人の協働による学びの場を作る。	生涯	7,805 千円	子どもと大人の協働による地域協働合校事業を実施した。 ・実施事業数 331事業 ・大人の参加者数 15,700人 ・児童生徒の参加者数 219,079人	7,805 千円	子どもと大人の協働による地域協働合校事業の実施	3	
E		中間支援組織の活用	①② ③④ ⑤	活動団体のネットワーク促進の連携 情報発信の連携 技術的支援における連携 人材育成事業の活用 活動支援や資金の助成における連携	中間支援組織の活用を図り、協働事業の促進、市民公益活動およびまちづくり協議会活動の健全な運営を行う。	まち健福	0 千円	コミュニティ事業団のあり方見直しを行い、その過程で市とコミュニティ事業団で目指す方向性を共有することができた。その結果、コミュニティ事業団の実施する各種事業についても、目的や対象者を明確にすることができ、市との連携も円滑に進めることができた。	0 千円	市と中間支援組織で目指す方向を共有し、各種事業について連携する。	4	B
F		人材育成事業の展開	①	協働意識の醸成と組織体制の充実	研修を開催し、協働を理解し推進できるような職員を育成する。また、多様な主体と連携した協働推進体制の充実を図る。	まち職員	0 千円	・新規採用職員向け協働研修 1回 ・主任・主査級職員向け協働研修 1回	0 千円	・新規採用職員向け協働研修 1回 ・主任・主査級職員向け協働研修 1回	3	B

資料F

資料G

【各施策評価】
 5...計画以上の取組を実施し、目標を大きく超える成果があった。
 4...計画どおりの取組により、目標以上の成果があった。
 3...計画どおりの取組により、成果があった。
 2...取組を行ったものの、思うほどの成果は得られなかった。
 1...取組まなかった、または、取り組むことができなかった

【推進項目ごと評価】
 ・施策評価の平均点数が 4.0以上5.0 → A
 ・施策評価の平均点数が 3.0以上4.0未満 → B
 ・施策評価の平均点数が 2.0以上3.0未満 → C
 ・施策評価の平均点数が 1.0以上2.0未満 → D
 ※小数点第2位は四捨五入